



2023年10月30日

各 位

会 社 名 テクミラホールディングス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 池 田 昌 史
(コード番号：3627 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 藤 代 哲
(TEL. 03-6838-8800)

連結子会社(ネオス株式会社)の会社分割(吸収分割)及び 承継会社(株式会社リンクアンドコミュニケーション)の子会社化に関するお知らせ

当社及び当社の100%子会社であるネオス株式会社（以下「ネオス」といいます。）は、本日開催の当社取締役会及びネオス取締役の決議において、2024年1月1日を効力発生日としてネオスのヘルスケア事業（以下「本事業」といいます。）を、株式会社リンクアンドコミュニケーション（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡邊 敏成、以下「L&C社」といいます。）に吸収分割（以下「本会社分割」といいます。）により承継させることを定めた吸収分割契約書（以下「本分割契約書」といいます。）の締結を決議するとともに、本会社分割によりネオスに割り当てられたL&C社株式について、剰余金の配当として当社が取得することを決議いたしましたので、お知らせします。

併せて、本会社分割の対価としてネオスが割当てを受けたL&C社株式を当社が剰余金の配当により取得することにより、L&C社は当社の連結子会社となる予定ですのでお知らせします。

記

I. 会社分割について

1. 本会社分割の目的

(1) ネオスのヘルスケア事業について

ネオスは、モバイル端末の黎明期よりヘルスケアサービスの企画・開発・運営を行ってまいりました。2014年5月から提供を開始した健康増進アプリ「RenoBody」は、現在では会員数が80万人、累計導入数も600社団体を突破しており、経済産業省が認定する「健康経営優良法人」制度では、140社以上の認定取得の支援を行うなど大きな成果を挙げております。また、長年のヘルスケア事業で得た知見により、通信キャリアや保険会社向けに数多くのソリューション開発を提供してきております。

(2) L&C社について

L&C社は2002年7月に設立されたヘルステック企業です。創業間もない頃より診療所向け食事指導支援プログラムの提供を開始し、その後も数多くの生活改善SNSや健康情報WEBサイトをリリースしたほか、現在も続く栄養士向けポータルWEBサイト「かわるPro」の開発・運営など20年にわたりヘルスケア領域での事業を行ってまいりました。現在の主事業であるAI健康アプリ「カロママ プラス」は、6,000以上の企業・地方自治体に導入されており、ネオス「RenoBody」と同じく130社以上の「健康経営優良法人」認定の取得支援をしております。また、同社ではWEBメディア事業やヘルスケア領域のソリューション開発なども行ってきております。

(3) 両社の事業統合による効果について

長年にわたりヘルスケアサービスの企画・開発・運営を行ってきた両社の事業が統合されることによって、以下の効果を見込んでおります。

① ウェルネスサービスNo.1企業としての確立

両社の事業が統合することにより、未病、予防領域におけるウェルネスサービス会社としての日本におけるNo.1企業を目指せる母体が出来ます。カロママ プラス、RenoBody等のサービスラインアップと強化されたブランディングにより、両社の顧客や見込み顧客に対してのクロスセル・アップセルが見込めるほか、オンライン栄養指導など関連サービスの拡大を通じてウェルネスサービスとしてのNo.1企業のポジションを確立して参ります。

② ヘルスケアソリューションの強化・拡大

両社が既に有するソリューション、AI技術等も含めた技術アセットを組み合わせ、ヘルスケアソリューションの強化・拡大を図ってまいります。販売に当たっては、ネオスでは通信キャリア、保険会社、L&C社では食品メーカ等それぞれ得意とする業界を選定してアプローチすることで成約確度の向上を図ります。また、L&C社単独では経営リソースの関係で、これまで開発依頼があっても受託できなかった案件について、今後は積極的に受託していくことによって、さらなる売上の拡大を図ってまいります。

③ 新規注力分野の効率的な立ち上げ

L&C社の連結子会社化により、ネオスとの事業連携を行うことで、よりスピーディーで効率的な新規事業分野の立ち上げを推進して行きます。まずは、事業統合に伴い、マーケティング媒体としてカロママ プラスに加えRenoBody等のアプリが増加することを踏まえて、小売事業者や食品メーカ向けのマーケティングDX支援やパーソナルプロモーション事業を推進してまいります。加えて、ネオスが行っている飲食店やスーパー向けのWalletサービスや、製薬会社、病院向け等の医療分野でのソリューションとの連携など、両社が有する資産を組み合わせることで、新たな事業の創出が効率的に行えるものと考えております。

2. 本会社分割の要旨

(1) 本会社分割の日程

| | |
|--------------------------|----------------|
| 取締役会及び取締役による決議日（当社及びネオス） | 2023年10月30日 |
| 取締役会決議日（L&C社） | 2023年10月30日 |
| 本分割契約書締結日 | 2023年10月30日 |
| 本分割契約承認株主総会（ネオス及びL&C社） | 2023年12月7日（予定） |
| 本会社分割の効力発生日（L&C社の株式取得日） | 2024年1月1日（予定） |

(2) 本会社分割の方式

ネオスを吸収分割会社とし、L&C社を吸収分割承継会社とする分割型吸収分割です。

(3) 本会社分割に係る割当ての内容

L&C社は本会社分割に際して同社の普通株式340,004株を発行し、その全部を分割会社であるネオスに割当交付します。なお、ネオスはこれと同時にネオスに割当てられたL&C社の全株式を、剰余金の配当としてネオスの100%親会社である当社に対して交付します。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増減する資本金

本会社分割によるネオスの資本金の額の変動はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

L&C社は、効力発生日における本事業に係る資産、負債、契約その他の権利義務について、本分割契約書において定められたものを承継します。

(7) 債務履行の見込み

承継会社であるL&C社は、本会社分割による権利義務の承継後の負債の額が資産の額を上回ることとなりますが、損益状況は承継前においても改善傾向にあること、また、ネオスのヘルスケア事業との統合効果による損益改善により、負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態が現在のところ予想されていないことから、債務の履行の見込みに問題はないものと判断しております。

3. 本会社分割に係る割当ての内容根拠等

本会社分割の対価として割り当てられることになる株式数の公平性・妥当性を確保するため、分割会社が承継会社へ承継させる事業の価値、承継させる資産や負債等に関し、当社は、当社、ネオス及びL&C社から独立した第三者算定機関である株式会社クリフィックス・コンサルティング（以下「クリフィックス・コンサルティング」といいます。）に算定を依頼し、2023年9月20日付で分割比率算定書を受領しました。ネオスのヘルスケア事業並びにL&C社の株主価値の算定に当たっては、当該分割比率算定書では、収益性や財務状況の類似性における制約に鑑み、類似会社比較法は採用せず、将来の事業活動の状況を評価に反映するディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下「DCF法」といいます。）が採用されております。

なお、クリフィックス・コンサルティングがDCF法による算定の前提としたネオスの財務予測については、前年度と比較し2025年度において46.5%、2026年度において38.9%、2027年度において34.3%のフリーキャッシュフローの増加を見込んでいる事業年度が含まれています。これは同社が開発・提供するヘルスケアソリューションや健康支援サービスの事業拡大を見込んでいることによるものです。一方で、L&C社の財務予測については、同社のフリーキャッシュフローは2023年度までマイナスで推移するものの、同社が提供する健康アプリやソリューションの事業拡大により2024年度以降はプラスに転換することを見込んでおります。

また、本会社分割の実施により実現することが期待されるシナジー効果については、現時点において見積もることが困難であるため、当該財務予測においては前提としておりません。

結果、分割比率の算定レンジは以下のとおりとなっております。

| ネオス ヘルスケア事業 株主価値 | L&C 株主価値 | 分割比率 |
|---------------------|---------------|------------|
| 2,299 ～2,984百万円 | 666 ～1,026百万円 | 2.24 ～4.48 |

なお、クリフィックス・コンサルティングは、分割比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報、ヒアリングにより聴取した情報、一般に公開された情報等を使用し、使用したそれらの資料及び情報等が、すべて正確かつ完全なものであること、かつ、分割比率の算定に重大な影響を与える可能性がある事実でクリフィックス・コンサルティングに対して未開示の事実はないことを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、クリフィックス・コンサルティングは、両社の資産または負債（簿外資産及び負債、その他偶発債務を含みます。）について個別の資産及び負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。クリフィックス・コンサルティングによる分割比率の算定は、両社の財務予測について、現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に検討または作成されたことを前提としております。

一方、L&C社においても、3社から独立した第三者算定機関である株式会社AGSコンサルティング

グに同様の算定を依頼し、結果、以下の分割比率の算定レンジを受領したとのことです（評価方法は、クリフィックス・コンサルティングと同じくDCF法にて算定したとのことです。）。

| | | |
|---------------------|---------------|------------|
| ネオス ヘルスケア事業 株主価値 | L&C社 株主価値 | 分割比率 |
| 2,215～2,891百万円 | 858 ～1,397百万円 | 1.59 ～3.37 |

上記の算定結果をもとに、両社の財務状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて総合的に判断するとともに、この算定結果の範囲内で当社及びネオスとL&C社の3社間で慎重に協議を重ねた結果、本会社分割により承継される権利義務に見合う分割比率及び分割対価として交付される承継会社の株式の数を合意いたしました。

| | |
|------|---------------------------------|
| 分割比率 | 本会社分割の分割対価として 交付される承継会社の株式の数 |
| 2.63 | 340,004株 |

なお、この分割比率及び割当株数は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、3社間の協議により変更することがあります。

4. 本会社分割の当事会社の概要（2023年9月30日現在）

| | 分割会社 | 承継会社 |
|------------------------|--|---|
| (1) 名称 | ネオス株式会社 | 株式会社リンクアンドコミュニケーション |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区神田須田町1丁目23-1 住友不動産神田ビル2号館10F | 東京都千代田区紀尾井町4番1号 新紀尾井町ビル5階 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 社長執行役員 池田 昌史 | 代表取締役社長 渡邊 敏成 |
| (4) 事業内容 | 情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発 | AI健康アプリ等での健康管理サービス事業及びメディア事業 |
| (5) 資本金 | 100,000千円 | 982,525千円 |
| (6) 設立年月日 | 2020年2月3日 | 2002年7月25日 |
| (7) 発行済株式数 | 1,000株 | 129,220株 |
| (8) 決算期 | 2月末日 | 9月末日 |
| (9) 大株主及び持株比率 | 当社：100% | 三菱商事株式会社：19.0% 東邦ホールディングス株式会社 ：16.4% 渡邊 敏成：14.3% 入澤 正幸：12.3% 田崎 正巳：11.6% |
| (10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績 | | |
| 決算期 | 2023年2月期（単体：日本基準） | 2022年9月期（単体：日本基準） |
| 純資産 | 1,979,287千円 | △490,485千円 |
| 総資産 | 2,705,301千円 | 117,295千円 |
| 1株当たり純資産 | 1,979,287.06円 | △14,031.14円 |
| 売上高 | 4,964,521千円 | 469,901千円 |
| 営業利益 | 349,126千円 | △284,656千円 |
| 経常利益 | 356,676千円 | △286,151千円 |
| 当期純利益 | 236,355千円 | △401,228千円 |
| 1株当たり当期純利益 | 236,355.94円 | △3,136.80円 |

5. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

ヘルスケア事業

(2) 分割する部門の経営成績（2023年2月期）

| | 分割する事業の実績(a) | 全体(b) | 比率(a)/(b)×100 |
|------|--------------|-------------|---------------|
| 売上収益 | 615,394千円 | 4,964,521千円 | 12.4% |

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価額

| 資産 | | 負債 | |
|------|-----------|------|----------|
| 項目 | 金額 | 項目 | 金額 |
| 流動資産 | 196,539千円 | 流動負債 | 27,986千円 |
| 固定資産 | 32,899千円 | 固定負債 | 1,452千円 |
| 合計 | 229,438千円 | 合計 | 29,438千円 |

(注) 2023年8月31日現在の貸借対照表を基に算出しているため、実際に承継される金額は上記帳簿価額に効力発生日前日までの増減を調整したものとなります。

6. 本会社分割後の状況

本会社分割による当社及びネオスの名称、所在地、代表者、事業内容、資本金、決算期の変更はありません。承継会社については、本会社分割の効力発生日をもって、以下となる予定です。

| | |
|-----------|---------------------------------|
| (1) 商号 | 株式会社リンクアンドコミュニケーション（商号変更予定） |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区紀尾井町4番1号 新紀尾井町ビル5階（変更なし） |
| (3) 代表取締役 | 代表取締役社長 渡邊 敏成 |
| (4) 資本金 | 1,139,104千円 |
| (5) 決算期 | 9月末日（2月末日へ変更予定） |

7. 今後の見通し

上記の本会社分割を含めた2024年2月期の連結業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要となる場合には速やかに公表致します。

II. 子会社化について

1. 異動の理由及び方法

「I. 会社分割について」に記載の本会社分割により、ネオスのヘルスケア事業をL&C社に承継する対価としてネオスが交付を受けたL&C社株式を当社が剰余金の配当により取得することによるものです。

2. 異動する子会社（L&C社）の概要

(1) L&C社の概要

「I. 会社分割について 4. 本会社分割の当事会社の概要」に記載のとおりです。

(2) 当社及びネオスと当該会社との間の関係

資本関係：該当事項はありません

取引関係：該当事項はありません

人的関係：該当事項はありません

(3) 当該会社の最近3か年の経営成績及び財政状況

| | 2020年9月期 | 2021年9月期 | 2022年9月期 |
|-------|------------|------------|------------|
| 総資産 | 541,043千円 | 421,622千円 | 117,295千円 |
| 純資産 | 32,093千円 | △89,256千円 | △490,485千円 |
| 売上高 | 266,715千円 | 441,496千円 | 469,901千円 |
| 営業利益 | △365,274千円 | △270,967千円 | △284,656千円 |
| 経常利益 | △371,131千円 | △273,500千円 | △286,151千円 |
| 当期純利益 | △372,081千円 | △426,850千円 | △401,228千円 |

3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

| | | |
|-------------------------|---------|-------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 所有株式数 | — 株 |
| | 議決権の数 | — 個 |
| | 議決権所有割合 | — % |
| (2) 本会社分割に係る対価としての取得株式数 | 所有株式数 | 340,004 株 |
| | 議決権の数 | 340,004 個 |
| (3) 異動後の所有株式数 | 所有株式数 | 340,004 株 |
| | 議決権の数 | 340,004 個 |
| | 議決権所有割合 | 66.6 % (予定) |

注：上記（2）は、「I. 会社分割について」で記載した本会社分割により、ネオスのヘルスケア事業をL&C社に承継する対価としてネオスが交付を受けたL&C社株式を当社が剰余金の配当により取得するもので、当該株式の取得に伴う金銭の授受はありません。

4. 異動の日程

「I. 会社分割について 2. 本会社分割の要旨（1）本会社分割の日程」に記載のとおりです。

5. 異動後の状況

「I. 会社分割について 6. 本会社分割後の状況」に記載のとおりです。

6. 今後の見通し

「I. 会社分割について 7. 今後の見通し」に記載のとおりです。

以上